

福島ロータリークラブ会報

vol. 35



インスピレーションに
なろう
2018-19RI 会長 パリー・ラシン

<http://www.f-rotary.com/>

2019.5.30 thu

18-19年度スローガン「融和と進化」



福島ロータリークラブ Facebook ページ
<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋7F 【例会日】木曜日 12:30 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

本日の プログラム	RYLA(ライラ)研修会 参加報告	㈱マクサムコミュニケーションズ	大和田 温子 様 菅野 唯 様
	地区研修・協議会 報告	会長部会 右近 八郎 会長エレクト 幹事部会 菅沼 裕次 年度幹事	公共イメージ・IT委員会 岡田 新也 会員 職業奉仕委員会 長谷部 一雄 会員

会長あいさつ



2018-19年度会長 浦部 博

新緑の候は、福島が最もみずみずしい季節で、みなさんの顔もなにか爽やかにお見受けいたします。

先日は、トランプ大統領が令和の最初の国賓として来日されて、天皇陛下が晩餐会を催されました。日米の協議も(少し)前進したようですが、トランプ氏もこうした和やかな経験を活かして、米中や各国とも一層の相互理解と友和を深めていただきたいと願っております。

一方、川崎では児童を巻き込んだ19人無差別殺傷事件が occurred。痛ましい事件で、なにか最近はそのような自己中心的な事件が多くなり、みなさんも心痛めているのではないのでしょうか。

自分の命は、自分のもので、命を捨てるのも自由。という自分の命の尊厳も知らない人間で、しかも自分の挫折を、関係のない人の命を巻き込んで清算するという、とんでもない思い上がりの事件で、これも今日の社会の歪の一つなのか、と哀しくなります。

令和は、変化と進化の時代だと思いますが、同時に、日本人本来の美しい感性や知性を取り戻していく時代であって欲しいと願っております。

今日も、プログラムは少し立て混んでおまして、このあとメンター委嘱状、米山功労者の方々への伝達、ライラ研修会に参加された女性リーダーの報告、および地区協議会に出席された、次年度役員・理事の研修報告があります。

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

国歌斉唱

ロータリーソング

「福島ロータリークラブの歌」

ソングリーダー 丹治正博 会員



会長あいさつ

浦部 博 会長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

米山奨学金 5月分支給

ヴォ ティ テュ ハー さん

メンター委嘱状交付

吉田大樹 会員 金子與志人 会員
渡辺健寿 会員 右近八郎 会員へ

米山功労者伝達

第5回マルチプル 相良元章 会員
第3回マルチプル 渡邊又夫 会員
第2回マルチプル 右近八郎 会員
第2回マルチプル 田沼紀美子 会員

幹事報告

増子 勉 幹事

■プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当 村上守人 委員



■本日のプログラム

閉会点鐘

浦部 博 会長

例会変更のお知らせ

■例会変更はございません。

その他のお知らせ

- 本日、石林にて午後6時より米山記念奨学会委員会、6時半よりTENの会が開催されます。
- 5月ロータリーレートは1ドル112円になります。また6月ロータリーレートは1ドル110円になります。

RYLA (ライラ) 研修会 参加報告



㈱マクサムコミュニケーションズ
大和田 温子 様

皆様こんにちは。マクサムコミュニケーションズの
大和田と申します。これより、今回のライラ研修会について
のご報告をさせていただきます。

今回参加させていただいたライラ研修会のテーマは、『自分
にとってリーダーシップとは』という内容でございました。
各講師の講演をお聴きし、リーダーシップについて参加者
でディスカッションなどを行いました。私は今回初めて
参加をさせていただきました。

研修は、1泊2日でプログラムが組まれており、福島ブ
ロック協議会会長の高橋美博講師の講演から始まりまし
た。リーダーとしての在り方について講演して頂き、東日
本大震災当時、福島青年会議所の一員として活動してい
た高橋講師は、そのメンバーと被害のあった地域にすぐ
赴き、ボランティアを行ったということをお伺いしまし
た。当時、いつ次の地震が来るかもわからず、誰もが原発
の怖さの中で過ごす中、すぐ集合しボランティアを行う
その行動力と、共に動いてくれた仲間との信頼関係の構
築は、まさに理想のリーダーの姿だと感じました。私も
これから会社の一員として成長していく中で、口だけでは
なく、行動で表していけるリーダーを目指していきたい
と思いました。

二人目の講演は、快フィットネス研究所所長の吉井正
彦講師でした。『人生、健康が土台』というテーマの講演
でした。その中で吉井講師は、笑顔でいることが健康で
いることに繋がっているとおっしゃっていました。私自身
も接客の仕事をしている中で、笑顔の大切さは日々実感
しておりましたが、まさか笑顔がからだの健康にも影響
があるとは思っていませんでした。今回、行動が感情を創
り出すことを学べたので、これから何か辛いことがあつ
ても、次を見据え、前を向いて行動することを心がけてい
きたいと思いました。

三人目の講演は、エジプト考古学者の吉村作治講師で
す。吉村講師は76歳にして今なおエジプトの研究を続
けており、第二の太陽の船をこれからさらに8年かけて
復元していくと語っておりました。自分の人生を豊かに
するためには、夢中になれる何かを持つことが大切だと

改めて思わせていただける時間となりました。私自身、そ
こまで夢中になれるものに出会えていないので、吉村講
師が、誇らしげに研究してきたことの話をしている姿が
とても印象的で、夢中になれるものを模索してみよう
と思いました。

四人目の講演は、ACユナイテッドの代表取締役である
鈴木勇人講師です。鈴木講師は、サッカーのクラブチーム
を例に、成功するための組織力についてお話されていま
した。千羽鶴のように、色も形も向きも違う個人が組織で
勝利を導くためには、絆を持ち、全員のベクトルを合わせ
ることが大切だという言葉が印象的でした。私も一店舗
で働いているのですが、スタッフ全員違う特性を持って
おり、各々苦手な部分もあり、それを皆が利他の心を持
って業務に励むことで、成果をあげてきたことを感じてお
ります。感謝の気持ちを常に持ち続けることの大切さを、
改めて感じる事ができる時間となりました。

グループディスカッションでは、『自分にとってリー
ダーシップとは』というテーマで同じグループになった
メンバーと意見を交わしました。講演の内容を参考に、
リーダーとしての資質は何か、自分が思うリーダーとは
どんな人か、リーダーとして活躍している人の魅力は何
か、という視点で意見を出し合いました。

私たちのグループでは、リーダーに重要な能力を絞り
発表しました。その能力とは、けん引力、調整力、包容力、
コミュニケーション力の4つです。考えや方針が明確で
あり、この人についていきたい、と思わせるような責任感
と、どんな相手も認め、受け入れられる人柄を持っている
人をイメージしました。そんなリーダーであれば、皆が自
然とついていきたいと思うようになり、組織全体の向上
に繋がるのではないかと考えました。

最後に、この度のライラ研修に参加させていただき、社
会人になって今までの自分を振り返り、社会の一員とし
てどういった人間に成長していきたいかを考える、貴重
な時間となりました。私も入社して7年目となり、新入社
員の教育も任せられる立ち位置にもあります。後輩と向き
合う時は自分本位にならず、目指すべきところでいられ
るように行動で示していきたいと思っております。参加させ
て頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。



㈱マクサムコミュニケーションズ
菅野 唯 様

初めてこの研修に参加させて頂いたことで、幅広い年齢、様々な職種の方々と交流を深めることで自分の視野を広げることができました。研修の内容は、情熱が成功に導くことや、健康が何ごとにも土台になることを学びました。

2日間の研修を通して、仕事や日常生活を見直すきっかけになりました。

特にその講話の中で、グループディスカッションでも取り上げられた【リーダーシップとは】という内容についてご報告させていただきます。

まず、初めに講話では自分の思うリーダーとはどんな人か、魅力はなにか、自分に足りないものはなにかを書き出しました。私の思うリーダーは、店長や責任者などのまとめ役で信頼性があり、統率のとれる人がリーダーだと考えました。高橋講師は、リーダーシップとは信念と覚悟がないとできない、信頼されることこそリーダーの原点なのだと話しました。

リーダーの資質は5点

- ・相手の話を聞き、認めることができる。
- ・相手の成功を共に喜ぶことができる。
- ・相手を尊重することができる。
- ・相手の気持ちを理解し気遣いができる。
- ・自らの間違いを認めることができる。

リーダーとは、常に相手の目線に立ち、自分の考え方を理解してもらえらる関係性が構築できていることが信頼に

繋がると考えます。高橋講師は、この資質を一番身近にいる両親に例えて話し、自らも意識して行動をすればリーダーになれるのだと思いました。

そして、この内容を踏まえ「自分にとってのリーダーシップとは」という題でグループディスカッションを行いました。初めに、それぞれ自分の考えるリーダー像を共有し、様々な意見がでました。グループの中には、既にリーダーの立場の方もいて、リーダー目線から普段意識している意見も聞くことができました。

私たちのグループでは「信頼性があり、気配りのできる人」がリーダーにふさわしいのではないか、という結論に至りました。

信頼性は高橋講師の話でもあった様に、リーダーの原点であるため、欠かせない要素だと思いました。そして、グループの中で意見が多かったのが気配りのできる人でした。会社はもちろん縦社会で、職員同士の接し方など上下関係が厳しいですが、仕事外での繋がりが重要視されるのではないかと感じました。信頼性と気配りがあることによって、より円滑なコミュニケーションと、周りのモチベーション向上などが期待できると考えます。

私はこの研修の中で、自らの意見に自信を持つ、という目標を立てました。普段、積極性や行動力に自信がないため、意見をしないことが多くありました。このような貴重な機会をいただいたことで、身をもって意見を出し合うことは大事なのだと改めて思いました。自分の考えを積極的に発信することは1つのコミュニケーションであり、自己表現をする大事なことだと考えます。

最後になりましたが、今回研修を企画してくださったロータリークラブの皆様をはじめ、研修の機会を与えてくださった社長、本当にありがとうございました。

以上で報告を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

本日のプログラム②

2019-2020年度 地区研修・協議会 報告



会長部会報告
右近 八郎 会長エレクト

会長部会は、芳賀ガバナーエレクト年度に新たに設立される規則・手続委員会と一緒に開催されました。

セッションⅠでは芳賀ガバナーエレクトの「会長の役

割と責務」に続き、阿久津パストガバナーの「クラブ運営とリーダーシップ」というテーマで講演がありました。

セッションⅡでは平井ガバナーより「今後の地区運営について」、高橋次期規則・手続委員会委員長より「2019年規定審議会の内容について」、最後に石黒ガバナーノミニーより「RLIとは何か?」というテーマでミニRLIを実施しながらの講演がありました。

それぞれの具体的な内容に関しては、今後機会を得てお知らせすることになりますが、ここでは変更になる地

区賦課金についてお知らせします。現行は20,200円/会員となっています。

地区賦課金については、国際ロータリー細則、第16条「地区」、16.060.「地区の財務」の16.060.2「地区賦課金の承認」に、地区資金は地区内クラブ会員に均等に割り当て、その額は、(1)地区研修・協議会の会長部会、(2)地区大会、(3)会長エレクト研修セミナーのいずれかにより決定されることになっています。2530地区では(1)地区研修・協議会の会長部会で決定しています。今回上程された地区賦課金の額は、青少年奉仕助成金を年額1,200円/会員から年額2,000円/会員に増額し、地区賦課金を年間21,000円/会員とするものです。反対意見もありましたが、出席した会長エレクトの3/4以上の賛成があり承認されました。



幹事部会報告

菅沼 裕 次期幹事

幹事の職責とそれを全うするために必要な心構えや行動の指針などを勉強させて頂きました。

半数ぐらいの方が私と同じ初めての幹事なのでみなさん緊張して講師の方の話を聞いていました。

私としては阿久津パストガバナーが講師で4月に開催した県北第一分区の幹事セミナーの方がはるかに緊張いたしました。

私が思う幹事の職務は「さまざまな情報を会員の方に広くお伝えること」、「会員が楽しく参加できる環境を整備・調整すること」だと考えます。

楽しい集まりはロータリーに限らず出席率が高いと思います。

楽しい例会・元気な委員会を会長・理事・会員の方々と一緒に作ってまいりたいと思っています。

1年間がんばりますのでよろしくお願いいたします。



公共イメージ・IT委員会報告

岡田 新也 情報小副委員長

公共イメージ・IT委員会に次年度古俣情報委員長と箱岩広報委員長が次期地区委員で、別の委員会に出席のため、代わりに出席してまいりました。

委員会は平井ガバナー、当クラブの相楽次期地区委員長始め6名の方からお話し頂きました。委員会の活動方針は「ロータリーのIT化を推進し効果的効率的にロータ

リーの楽しさをつなげよう」ということで、具体的な活動内容につきましては、

●まず各クラブをサポートする内容は

①公共イメージITセミナーの開催

②各クラブのロータリーデー、例えば創立記念日、世界ポリオデーの開催支援

③あと前から行ってありますが、MyROTARYとロータリーショーケース、ロータリークラブセントラルの登録を支援

④あとこちら2つはまだ仮称ですが、復興フォーラムの開催支援と公共イメージITアワードの表彰がサポートの内容です。

●次にメディア対策として

①昨年も行っていきます地区でのマスコミ懇談会を7月に開催

②ホームページが無いクラブもあり比較的簡単にできるフェイスブック、ブログなど安価で効果的な情報発信の方法を共有すること

●また更なるIT化の推進の為

①地区資料の収集と整理、また目標に対する進捗状況資料等の作成と整理

②公共イメージ小委員会とIT小委員会との連携による情報発信

③各クラブの公共イメージ担当とIT推進担当者を把握し情報を共有する

●最後に、これらの効果の検証として

①ロータリーの認知度アンケートの調査の実施し検証する

②マスメディアに取り上げられた活動を把握し検証する

以上の活動を通して、地域の人々に「ロータリーをより知ってもらおう」ことが重要ということです。

以上です。ありがとうございました。



職業奉仕委員会報告

長谷部 一雄 会員

5月18日に開催された地区研修・協議会に参加、午後の分科会「職業奉仕委員会」に出席してきましたので、分科会での研修内容を簡単に報告いたします。

セッションIは、佐藤委員長(飯坂RC)からは、「職業奉仕と私」と「何故いま職業奉仕なのかについて」。セッションIIは、初瀬副委員長(郡山RC)からは、「職業奉仕の歴史について」それぞれ講義がありました。

まず、セッションIの佐藤委員長からは、これだけ今日参加の皆様から、クラブの会員へ伝えてくださいと力説されていたことをお伝えします。それは、各ロータリ

アンが月初めの冒頭唱和している「四つのテスト」で、各ロータリーとも日本語訳で唱和していると思うが、日本語訳では短文に訳されていて本当の意味が正確に読み取れていないので、英文の詳細な意味をよく理解していただいて、各自の業に是非活かしていただきたいということでした。

この点については、当ロータリーの阿久津パストガバナーも折に触れ、お話しになっていたことを思い出した次第です。

四つのテスト (英文)	四つのテスト (日本語訳)
The Four-way Test	四つのテスト
Of the things we think, say or do	言行はこれに照らしてから (注) thingが抜けている
1) Is it the TRUTH?	真実かどうか
2) Is it FAIR to all concerned?	みんなに公平か (注) Fairは本来「美しい」の意味で、Foul「不潔、不正、邪悪」の対象語。公平より公正が適切
3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?	好意と友情を深めるか
4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?	みんなのためになるかどうか

委員長としては、ロータリークラブの創立された時代背景(シカゴという地理的状況を踏まえて)を考慮すると、企業家の職業生活として私たちの考え、言葉、行いがこれに適うか。

- 1) (価格、納期、品質、宣伝などに) 嘘・偽りがないか
- 2) すべての取引先に公正か
- 3) 取引が店の信用を高めるとともに、よりよい人間関係を築くか

4) その取引によってすべての取引先を得られるかと訳するのが適切であり、私は自らの事業をこの指針に基づいて実践している。

次にセッションIIの初瀬副委員長からは、ロータリークラブは、会員が自らの職業を正しく行い、業界全体の倫理的水準を向上させ、ひいては地域社会の発展を成し遂げようという、職業を通じての奉仕、「職業奉仕」を行うことが、他の奉仕団体にはない特徴があるということで「職業奉仕の時代的変遷」について講義。

1905年ロータリー発足後、「職業奉仕」という言葉が登場するのは、1927年の国際大会で、ロータリーの基本理念であった「一般奉仕概念」が、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の4つに分けられたときで、その時の定義は「ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、かつ高い道徳的水準を保つことを奨励する」というもの。しかし、ロータリーの中では職業奉仕そのものは徐々に冷遇され、国際ロータリーは、1948年に「ロータリアンの職業宣言」を採択する一方で、職業奉仕委員会を廃止してしまった。1987年約40年振りに復活したものの翌年には、再び廃止されるという経緯を経て、2007年によりやく標準ロータリークラブ定款に四大奉仕部門のひとつとして復活、現在は、五大奉仕部門の第2部門の位置を与えられている。

職業奉仕の歴史的変遷の中にあつて、ロータリアンの行動規範ともいべき、11条からなる職業倫理訓(道徳律)が1915年のRI国際大会で採択されたが、この職業倫理訓も幾多の変遷を経て、1980年にはロータリーの文章から消えてしまったことも大変残念です。この職業倫理訓は、日本では米山奨学会制度創設に関わった古沢文作氏によって、1928年、大連ロータリークラブの宣言として日本に根付かせたことは忘れてはいけないと思っている。

「TENの会」開催



誕生お祝いの米山奨学生
ヴォティテュハーさん



熊谷 謙 新会員



小野悦也 新会員



茂成直政 新会員



山口圭介 会員より
退会のごあいさつ



中川宏生 新会員



村上守人 新会員



5/30(木)午後6時30分より、「石林」にて今年度入会された新会員5名の方の歓迎を兼ね、TENの会が開催されました。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



●(株)マクサムコミュニケーションズ
おおわだ あつこ
大和田 温子 様



●(株)マクサムコミュニケーションズ
すがの ゆい
菅野 唯 様

米山記念奨学金 5月分給付



●米山記念奨学生
ヴォ ティ テュ ハーさん

メンター委嘱状交付



吉田 大樹 会員
金子與志人 会員
渡辺 健寿 会員
右近 八郎 会員

米山功労者 伝達



●第5回マルチプル
相良 元章 会員
●第3回マルチプル
渡邊 又夫 会員
●第2回マルチプル
右近 八郎 会員
●第2回マルチプル
田沼紀美子 会員

私のひとこと



五阿弥宏安 会員

著名な落語家が「幕間」のことを「まくま」と話していた。これは「まくあい」と読む。読み間違えやすい言葉とはいえ、「伝統芸能の大御所まで」と驚いた次第である。「未曾有」を「みぞうゆう」と読んで失笑を買った政治家もいたが、日本人であれば正しい日本語を身につけたい。

「役不足」も要注意の言葉だ。重職を任された人が「私には役不足ですが」などと謙遜するのをよく見かける。本来、「役不足」とは「役目が不相応に軽くて不満」ということであり、意味は全く逆になる。使うなら、「役不足」ではなく「力不足」であろう。

言葉は人を現す。お互い気をつけましょう。

例会プログラムのご案内

6月13日(木) 理事会承認休会

6月20日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

【通常例会】

東京交歓会報告

菅野 晋 会員(親睦ロータリー家族小委員長)

新会員スピーチ

村上 守人 会員(Karen 代表)

ベテラン会員スピーチ

加藤 義朋 会員(竹田総合病院泌尿器科科長)

6月27日(木) 18:30 ~ 辰巳屋

【夜間例会】

辰巳屋さん、ありがとう さようなら夜間例会

ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 18件 ¥47,000 累計¥1,622,000 [報告] 村上守人 委員

浦部 博会長

次年度役員理事の皆さん、地区研修協議会、誠にご苦労さまでした。次年度のスタート実質的なバトンタッチがはじまりました。次はよろしくたのんだぞ。

渡辺 健寿 会員

令和元年春の叙勲に際し、はからずも旭日小綬賞受章の栄に浴しました。私にとって弁護士登録45周年となる節目の年であり、身に余る光栄なことと感激の極みです。皆様の長年にわたるご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。

日比野 恒夫 会員

6月19日~20日石林にて料理会が開催されます。19日はお陰様で満席状態ですが、20日はまだまだお席に余裕がございます。是非お申し込みいただいている方々のお越しをお待ちしております。例会参加できずにすみません。

加藤 義朋 会員

ライラ研修会報告のお二人を歓迎し、スピーチに期待します。

五阿弥 宏安 会員

本日の決算役員会で社長の再任が内定しました。

今後共宜しくお願いします。

丹治 正博 会員

6月1日、2日の東北絆まつりでは、稲荷神社の境内に露店が立ち並び、茶道「宗編流」の先生方によるチャリティお茶席が設けられ、お客様のおもてなしを予定しております。

中山 興 会員

急に夏の陽気となりました。つい先日まで雪や桜といった話題であったのが、熱中症を心配するといった話が聞かれるようになりました。体調に気をつけて福島初夏を楽しみたいと思います。

村上 守人 会員

絆まつり、私も大わらじ担ぎ手として参加します。頑張ります!

クラブ会員より 古俣 猛/吉田大樹/白岩康夫/佐藤良智/佐藤朋幸/佐藤 徹/熊谷 謙/小原 敏/岡田新也/安藤健次郎